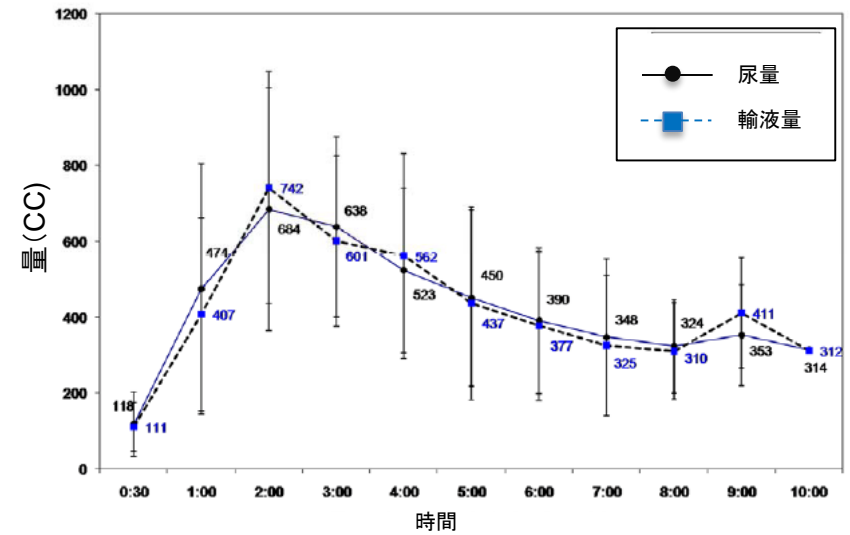


2013年10月1日より 先進医療:リーナルガード治療

対象:腎機能障害があり、狭心症、閉塞性動脈硬化症、末梢血管疾患などのカテーテル治療をする方。

リーナルガード治療とは:カテーテル治療では、造影剤を使って狭窄の状態や処置の仕上がりを見る必要があります。この造影剤は患部から腎臓に回り尿として排出されますが、腎臓内に残る量も多くあり、それが腎機能障害を引き起こします。腎機能が悪い方でも安全にカテーテル治療が受けられる可能性が考え出されました。それがリーナルガード治療です。この治療は無償で受けられます。

方法:はじめに250cc輸液しフロセミドを打ち尿が増えるのを待ちます。時間尿が300ccになったらリーナルガードシステムを稼働させてカテーテル治療を開始します。システムは多量に出る尿と同量の輸液を施し、腎臓内の灌流が上がり出来るだけ多くの造影剤が尿と一緒に体外に出ていくようになります。カテーテル治療が終わっても4時間システムを稼働させ、残留造影剤が少なくなるようにします。結果として腎症が減ると考えられます。



尿量と輸液量が同じになる

尿重量を測り同量を輸液する

